

1 事業室のミッション

全学的な情報インフラ整備の観点から，附属図書館の情報システム及びコンテンツサービスが適切に機能するよう，学内外のサービス／システムとの連携支援や技術支援を行う。また，その過程で生まれた課題や要求に対し，情報技術を活用した先端的なシステムの試行的な構築や評価を行う。

2 事業計画等

(1) 図書館システム支援

・サービス内容

附属図書館の業務システム及びユーザサービスシステムに対し，安定的な運用，全学的な情報インフラの活用，他の学内システムとの連携，及び時代の変化に応じた発展が適切に行われるよう支援する。

・対象

附属図書館

・将来ビジョンと 2021 年度の計画

図書館システムの安定運用のために，技術的な支援及び附属図書館と関係各所の連携支援を行う。特に，2022 年度に更新が予定されている図書館業務システムの仕様作成を支援する。

・特記事項

なし

(2) 電子コンテンツサービス支援

・サービス内容

本学で提供される電子的な学術コンテンツ（電子ジャーナル等）が，利用条件等に応じて適切にアクセスコントロールされ，新型コロナウイルス対応により学習や研究を自宅で行わざるを得ない学生、教職員においても効果的に利活用されるよう，技術的及びシステムの支援を行う

・対象

附属図書館，学生，教職員

・将来ビジョンと 2021 年度の計画

① Shibboleth 認証サービスの安定運用

附属図書館，認証基盤事業室及び国立情報学研究所の学術認証フェデレーション（学認／GakuNin）と連携し，個人認証による電子コンテンツへのアクセス及びシングルサインオンに対応した Shibboleth 認証サービスを安定運用するための技術支援を行う。

② リモートアクセスサービスの提供

Shibboleth 認証サービス（①）を補完するため附属図書館と協同で提供してい

るリモートアクセスサービス（EZproxy）について、運用システムの評価を行いクラウドサービスへの切り替えの検討を行う。

③不正利用への対応

電子コンテンツが契約等に則して適切に利用されるよう、エンドユーザとコンテンツ提供側（附属図書館等）の調整を支援する。

・特記事項

なし

(3) 機関リポジトリ支援

・サービス内容

九州大学における研究成果の保存・公開について、全学的な見地から整備を進めて行くために、関係するシステム間の連携及び技術支援を行う。

・対象

附属図書館，教職員

・将来ビジョンと 2021 年度の計画

九州大学における研究成果を保存・公開するシステム「九州大学学術情報リポジトリ（QIR）」は、研究成果の恒久的な保存や社会還元の実行等、全学に恩恵のある情報システムである。本事業室は、九州大学情報統括本部の 1 事業室として、QIR の定常的な運用やコンテンツ拡充・機能向上を積極的に支援し、オープンサイエンスを推進する。2021 年度は、インスティテューショナル・リサーチ室と連携して九州大学教員活動進捗・報告システムと機関リポジトリの連携機能を活用し、九州大学オープンアクセス方針の円滑な運用に努める。

・特記事項

なし

(4) 図書館での教育支援

・サービス内容

情報統括本部が提供する全学共通 ID や教育用無線 LAN 等のサービスについて、図書館利用者への円滑な利活用を支援する。また、BYOD の補完として利用者用パソコン（Chromebox, Chromebook）の運用を支援する。

・対象

附属図書館，学生，教職員

・将来ビジョンと 2021 年度の計画

附属図書館と連携し、情報統括本部が提供するサービスに関連した学習・研究への支援を行う。また、必要に応じてユーザからの要望への対応を行う。

・特記事項

なし